

砂川遺跡

—旧石器時代研究の過去・現在・未来—

2019年11月9日(土)

時間・場所

(開場9時30分) 午前10時～午後5時
会場：明治大学グローバルフロント1階
多目的室(195名) 先着順
入場：無料(配付資料あり)



プログラム

10:00～11:15 記念講演会

「旧石器時代研究に於ける砂川遺跡の果たした役割」

稲田孝司 (岡山大学名誉教授)

11:15～11:50

「砂川遺跡とはどんな遺跡であったのか」……………飯田茂雄(東京国立博物館)

13:00～13:30

「砂川遺跡のブロックと礫群」……………鈴木忠司(古代学協会)

13:30～14:00

「砂川期とその特徴」……………堀 恭介(東京都埋蔵文化財センター)

14:00～14:30

「相模野台地における砂川期」……………高屋敷飛鳥(神奈川県埋蔵文化財センター)

14:30～15:00

「砂川期の移動と石材獲得」……………山地雄大・太田千裕・藤山龍造(明治大学)

休憩 15:00～15:20

15:20～16:50

コメント…野口 淳(NPO南アジア文化遺産センター事務局長)

栗島義明(明治大学黒耀石研究センター)

討 論 「砂川遺跡を巡る旧石器時代研究」……………飯田・鈴木・山地・野口・栗島